

平成20年度「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業

モデル事業名	富田林寺内町かいわいの「地域資源と人材」を活かした空家活用プロジェクト
対象地域	大阪府富田林市 富田林駅南地区
活動概要	<p>【テーマ】 寺内町かいわいのまちなみ、歴史、文化等の「地域資源」を活かし、まちづくりの担い手となる「人材」を掘り起こしつつ、空家活用の社会実験を通じて、各主体の連携体制を構築し、地域の持続的活性化を図る。</p> <p>【地域の課題】</p> <p>①寺内町のまちなみ保存と空洞化 ⇒寺内町は「重要伝統的建造物群保存地区」、「美しい日本の歴史的風土100選」に選定されており、歴史的な建物が184軒(重伝建地区内の特定物件)あるが、そのうち空家は、約40軒存在する。</p> <p>②駅南地区の人口減少、空洞化 ⇒市の人口は横ばいであるが、当地区は減少傾向にある。また、高齢化率は21%である。高齢者単身世帯、高齢者夫婦世帯も多い。 ⇒空家や老朽化した民家が放置されたままのエリアもある。</p> <p>③寺内町の顔である駅前の未整備 ⇒駅前は、歴史的なまちなみを有する寺内町の入り口であるが、現在駅南側の広場、歩道、交通環境の未整備に加え、空家が点在し、寺内町の顔にふさわしいまちなみとはいえない。</p> <p>【本事業で達成・実現したいこと】 上記の課題に対して、空家活用プロジェクトにより、地域資源と、人的資源を掘り起こし、駅南地区全体のまちづくり、活性化を目指す。また、この取り組みにより、協議会を中心としたコミュニティの強化を図る。更に、来訪者やサポーターなど地域外部とのネットワークづくりにより、地域コミュニティのさらなる発展を目指す。</p>
今年度の主な取組	<p>①地域資源の発掘 地区内に存在する町家などの空家の調査を実施し、現況の把握を行う。これにより、貸し手、担い手など今後の空家活用の協力者の発掘を行う。</p> <p>②空家活用の社会実験の実施 ○空家活用のモデルとして、町家を協議会が借り、1週間社会実験を実施する。 ・郷土史やまちづくりに関する講演会、まちづくりや地域の歴史・文化に係わるものの展示、お茶、琴、能など伝統文化に触れる講座の開催 ・協議会による地域と連携した実験的運営管理の実践 等</p> <p>③実験の評価及びニーズ把握 社会実験のアンケート調査実施により、実験内容、推進体制の評価を行い、今後の取り組みに活かす。</p> <p>④空家活用の検討 実験を踏まえ、空家活用のプログラムづくり、運営システムの検討を行う。</p>

活動結果	<p>空家活用調査については、10年ぶりに富田林駅南地区における空家数と分布状況が把握できたとともに、空家所有者の賃借希望者や新規開業希望者(2~3人)の把握もできた。</p> <p>社会実験については、900人の参加があった。最終日の土曜日は約500人もの参加があり、地域住民に当地区における空家活用の取り組みをPRすることに有効であった。社会実験の準備・開催を通して、今まで協議会活動に参加していなかった、地元、地域外の方等の協力・参加を得ることができた。特にまちづくりに興味のある地域内外の若い世代の掘り起こしができ、新たな人的ネットワーク構築に成果があった。</p>
当初予想していなかった効果	<p>重伝健地区の寺内町を中心とした空家にターゲットを絞って活動してきたが、この取り組みに影響を受け、駅前付近の商店街において、地元の商業者の中に空き店舗活用への意識が強まり、自ら積極的にアイデアを出し、空き店舗に入るテナント(若い商業者等)を探す動きがでてきた。</p>
実施状況(写真)	<div data-bbox="687 1010 1161 1317" data-label="Image"> </div> <p>【写真】空家活用社会実験での講座開催の様子</p>
応募団体名	富田林駅南地区まちづくり協議会
リンク	http://www.tondabayashi-machizukuri.org/index.html
部局/担当者名	本件担当事務局 吉野・新田
連絡先	06-6944-1173
推薦市町村名	大阪府富田林市